



Thank you for  
**25th**  
anniversary

認定NPO法人  
フリー・ザ・チルドレン・ジャパン



FREE THE  
CHILDREN

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンは、  
多くのみなさまのご支援ご協力により  
創立25周年を迎えます。

「世界は変えられる」  
子どもがそう信じられる社会の実現に向け、  
進み続けてまいります。

新たなフェーズへと皆さまとともに  
代表理事 中島早苗 より



私たちフリー・ザ・チルドレン・ジャパン (FTCJ) が  
25年間にわたって活動を続けてこられたのは、  
FTCJの理念に共感し、活動に参加したり、様々  
にご支援ご協力くださる皆さんの存在があったからこそです。  
FTCJの活動に関わってくださった皆さま、本当にありがとうございます。

25年は短いようで様々な変化がありました。日本では、子どもをまんなかに  
置いた社会づくりをしていこうと、こども基本法ができました。この法律  
がしっかりと社会に根付き、子どもの権利をはじめ全ての人の人権が大切に  
される日本に、そして世界になるよう、25年の活動を振り返りながら  
新たなフェーズへと皆さまとともに歩んでいく機縁にできれば嬉しいです。

創設者 クレイグ・キールバーガー より



フリー・ザ・チルドレン・ジャパン (FTCJ) の25周年記念の  
お祝いをできることを本当に光栄に思います。

「若者は未来のリーダーだ」と思っている人たちに、  
「日本の若者は今リーダーになれる」ということを  
25年かけてみなさんが証明してくださいました。

メンバー登録をして活動している子ども・ユースの皆さん、理事の皆さま、  
働くスタッフ、そしていつもボランティアをしてくださる方々、寄付者として団体の  
活動を応援してくださる皆さまがフリー・ザ・チルドレン・ジャパンの心となって  
活動してくださり感謝いたします。そして、FTCJを25年前に始めていただいた  
中島早苗さんにも感謝の言葉を述べたいと思います。ありがとうございます。  
25周年のイベントで久しぶりに皆さんとお会いできるのを心から楽しみにして  
います。



# 沿革

1999年、インターネット普及もままならない時代に、掲示板や電話、FAXを駆使して活動スタート。仲間がさらに仲間を集め、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンの活動の輪は日本中に広がっていきました。活動のモットーである「Gift+Issue=Change!」(自分のギフト、つまり好きなことや得意なことを活かして、社会問題に取り組むことで、変化を起こせる!という意味)をもとに、たくさんの子どもが勇気あるチェンジメーカーとして活動してきました。メンバー一人ひとりが主人公であり、一人ひとりのアクションがより良い世界を創り、この25年を作り上げることができました。



## 啓発プログラム

- 1999年 フィリピン・プレダ基金創設者シェイ・カレン神父や子ども活動家ピアさんを招へいし日本各地で講演
- 2000年 フィリピンスタディツアー初開催  
FTC創設者クレイグ少年(当時17歳)を招へい、保岡法務大臣(当時)との接見、講演会開催
- 2001年 インスタディツアー初開催  
夏キャンプ(現:テイク・アクション・キャンプ)を日本で初開催
- 2002年 クレイグとFTCJの子どもメンバーによる児童労働を廃絶するための合同記者会見
- 2004年 イタリアで開催された「児童労働世界子ども会議」にFTCJメンバー含む子ども3名が出席
- 2005年 スマトラ沖大地震の被災者支援としてカナダ大使館にてチャリティコンサート開催
- 2006年 ビアさん(子どもの権利活動家/フィリピン・プレダ基金所属スタッフ)を招へい、講演会実施
- 2007年 麻生外務大臣(当時)に途上国の中等教育援助の拡充をお願いする嘆願書を提出
- 2008年 「アクションキッズ」開始  
日加修好80周年記念  
「MONKEY MAJIKチャリティーライブ」主催  
チョコプロ(子どもによる寄付付き商品開発・販売チーム)開始
- 2010年 WE Day上映会&Dewチャリティーライブ
- 2012年 ミシェル・チクワニネさん(元子ども兵士)招へい  
日本各地で講演
- 2014年 子ども・ユースメンバー有志が「mini WE Day」(現:チェンジメーカー・フェス®)を初開催
- 2018年 「東京グレートサンタラン」初開催(協力)
- 2020年 休校中の子どものための無料オンライン講座シリーズ「FTCJ事務局主催版」開始  
若者が政治家に対して声を上げるプログラムを開始  
アクション応援助成事業  
「We are the MOVEMENT」開始  
テイク・アクション・キャンプ オンラインで初開催  
チェンジメーカーフェス2021オンラインで初開催
- 2021年 子どもアン・サダーが小倉将信ことも政策担当大臣を訪問
- 2022年 ウェルビーイング事業開始
- 2023年 チェンジメーカー・フェス2023 初の会場開催

## FREE THE CHILDREN

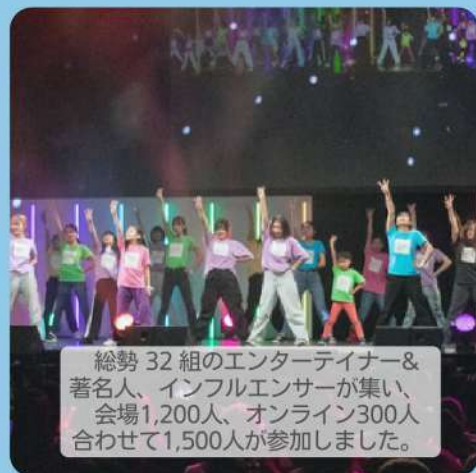
- アメリカで中島がフリー・ザ・チルドレンを知る(1997年)
- フリー・ザ・チルドレン・ジャパン設立(1999)
- FTC創設者クレイグ・キールバーガーが尾崎行雄記念財団「穹堂賞」受賞(2002年)
- 東京都台東区内に事務所を開設  
特定非営利活動法人の認証(東京都)を取得(2004年)
- 初のアルバイト職員を雇用  
関西連絡所開設(2005年)
- 代表中島が国際ノブチストより「青少年指導者育成賞」受賞(2007年)
- 初の専従の有給職員を雇用(2008年)
- 事務局を東京都世田谷区に移転(2011年)
- 認定NPO法人の認証(国税局)を取得(2012年)
- フィリピン盲学校支援のクラウドファンディングがReadyfor賞を受賞(2017年)
- JANIC「NGO組織強化大賞2017(女性スタッフの登用・活躍部門)」を受賞(2018年)
- 「SCARE HUNGERアクションキット(フードドライブ)」が消費者教育教材資料表彰2023 優秀賞
- 職員7名、業務委託6名とインターンとボランティア多数で活動中(2023年)

## 支援プログラム

- 1999年 フィリピン・プレダ基金を視察、支援開始
- 2000年 フィリピン・プレダ基金の子どものためのジブニー購入  
緊急支援開始(インド・西ベンガル地方洪水被害)
- 2002年 フィリピン・TATAG(タタグ)支援開始  
フィリピン・ギリヤドセンター支援開始  
「アジアの会」を通じモンゴルの子ども支援  
アルゼンチンの子ども支援センターへの支援  
FTCカナダを通じたシエラレオネ支援
- 2004年 カンボジア・HCCの支援
- 2006年 フィリピン・ミンダナオ島での視察、支援開始
- 2007年 モンゴルの支援活動開始
- 2008年 モンゴル・ゲル図書館設置、運営開始
- 2009年 モンゴルの子どもたちと文通プログラム開始  
インド・ラジャスタン州の貧困農村地域で学校建設など子どもへの支援開始
- 2011年 ミンダナオ島先住民族コミュニティ自立支援開始  
ミンダナオの先住民族の子どもたちとの文通プログラム開始  
東日本大震災緊急支援の実施(相馬市、南相馬市)  
復興支援の開始
- 2013年 FTCカナダを通じてケニア支援開始  
フィリピン・ルソン島の先住民族アエタ族コミュニティへの水支援と虐待を受けた子どもへの教育支援開始
- 2016年 フィリピン障害者支援事業の開始  
熊本地震緊急復興支援の実施
- 2018年 フィリピンから視覚障害者の高校生5人を招へい
- 2019年 有志メンバーがフィリピン・ミンダナオ島の小学校修繕に向けクラウドファンディング「READYFOR」で実施
- 2020年 海外支援事業地にて新型コロナウイルス緊急支援開始  
テイク・アクション・キャンプへのスカラシップ(参加費免除)制度開始
- 2021年 コロナ緊急支援として、日本国内で経済的に困難な世帯に支援金を贈る「FTCJ入学・進級応援金」事業開始
- 2022年 フィリピンのスラム街で火災により家を失った子どもたちへの食糧・生活物資提供のための緊急資金支援を実施  
ロシア・ウクライナ戦争でポーランドへ逃れたウクライナの難民に対する緊急支援を、現地NGO団体への資金寄付を通じて実施



コロナ禍を乗り越え念願の  
チェンジメーカー・フェス初の会場開催！



総勢 32 組のエンターテイナー &  
著名人、インフルエンサーが集い、  
会場1,200人、オンライン300人  
合わせて1,500人が参加しました。



## CHANGE MAKERS FES 2023開催 (写真 左上、右上、横)

SDGs 達成に向けたソーシャルアクションを起こした 25歳以下の子ども・若者を無料で招待し、活動家や著名人と一緒にこれまでのアクションや成果を祝い、互いのこれからの活動にエールを送るCHANGE MAKERS FES (チェンジメーカー・フェス) 初の会場版をTOKYO DOME CITY HALLで開催しました。

## こども家庭庁・こども基本法関連活動 (写真 下左、下右)

フリー・ザ・チルドレンでは、子どもメンバーをはじめ、関連団体と一緒に政治や社会に子どもの声を届けようとさまざまな活動を行ってきました。そして2023年に、こども基本法成立、こども家庭庁が創設されました。その後も家庭庁の小倉大臣を訪問し子どもたちの声を届けたり、イベントへの登壇をするなど、子どもたちの声を発信しています。



10代のモヤモヤを政府に届ける#10代のモヤモヤキャンペーンで集まった  
1,096の声をこども家庭庁および小倉大臣に届けました。  
共催：CHANGE MAKERS FES/広げよう！子どもの権利条約キャンペーン



### 参加者の声

普段の日常の中で、社会に子どもの権利が浸透している実感はないけれど、地方の高校生である私が大臣に意見を伝えることができたという事実は以前では考えられなかったことだし、少しずつ社会は変わっているのだと思います。

2023年度は5,345名に出前授業・講演会を行いました。(12/1現在)



### 参加者の声

ボランティアは一部の人だけがするものだと思っていたけど、授業を受けて「楽しそう」「自分も参加できそう」と思いました。



「川崎市×うんこドリル」子どもの権利に関するワークショップ実施

### 出張授業・チェンジメーカー教育プログラム (写真 左上、右上、横)

今年も全国の学校やイベントで出前授業や講演会を対面・オンラインで実施しました。また、子ども・若者一人ひとりが社会問題を自分ごととして捉え、問題解決に向けたアクションを起こせるように開発されたチェンジメーカー教育プログラムの教材やウェブサイトをブラッシュアップしました。夏には、教職員向けの教材体験会も実施しました。

### ハロウィンフードドライブ キャンペーン (写真 下左、下右)

ハロウィンの時期である10月に食品寄付の活動に取り組むことを呼びかける「ハロウィン・フードドライブ キャンペーン2023」を開催。今年は烏山商店街を練り歩くフードドライブ・パレードや株式会社JR中央線コミュニティデザイン様共催のJR中央線・南武線5駅でのフードドライブを実施しました。高校3校での連携実施や行事に合わせての実施報告も届きました。



「SCARE HUNGER アクションキット (フードドライブ)」が消費者教育教材資料表彰2023 優秀賞を受賞しました



### 参加者の声

言うことは簡単ですが、実施するうえで多くのことを人にお願ひしたりなど大変なことがいくつかありました。これに挫けず今後も1歩1歩前進していきたいと思ひます。





子どもや若者自身がソーシャルアクションを開催するプロジェクト。公募により選ばれたアクションは、立案者自身が企画・主催するまで、スタッフの伴走支援と資金助成を受けることができます。2020年から始まり、これまでに17組のグループがそれぞれの興味関心のある社会問題に関するアクションを起こしています。



主催グループメンバーの声

メンバーだけでやるよりもスタッフの大人の方が見守ってくれて心強かったです。また、つらいときも親身に向き合ってくれて励み・力になりました。

**WE ARE THE MOVEMENT** (写真 左上、右上、横)

立案者自身が企画・主催をし、本プロジェクトの一環として、大東建託グループみらい基金の助成、認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパンの伴走支援のもと実施しています。今年度はチェンジメーカーフェス前日にゴミ拾い、発達障害に関するオンラインイベント、インドハンセン病コロニー渡航報告会など分野も多岐にわたりました。

**ウェルビーイングプログラム開始!** (写真 下左)

子どもや若者や、子どもに関わるおとなが、「子どもには子どもの権利があり、権利の主体であると理解を深めることができる」「ウェルビーイングな状態になれる」ような教材・ツールを翻訳・開発、提供を開始し、ウェブサイトで公開しています。中学校や高校へ出前授業や講演も開始しました。



冊数	冊名	冊数
第1冊	私の取扱説明書 暮らしに役立つ心と体の健康	17
第2冊	自分の親友になろう 自分とつながるためのヒント集	38
第3冊	つながる 自分とつながるためのヒント集	54
第4冊	内なる力を引き出そう 自分とつながるためのヒント集	73
第5冊	いろんな気持ちを感じてみる 自分とつながるためのヒント集	95
第6冊	柔軟さ 自分とつながるためのヒント集	107
第7冊	知る、育つ、溢れる 自分とつながるためのヒント集	127
第8冊	寛大になる 自分とつながるためのヒント集	144
第9冊	自分のGPSになろう 自分とつながるためのヒント集	162
第10冊	自分の道を見つけよう 自分とつながるためのヒント集	181



毎年恒例/  
テイク・アクション・キャンプ

2023年春はオンラインで夏には対面開催で実施。春は計12名、夏は34人にご参加いただきました。



コロナの影響により4年ぶりにフィリピンスタディーツアーを開催。18名の参加者とフィリピンを学び、楽しみました。

### フィリピン・ミンダナオ島にて教育者・保護者への研修を実施しました。(写真 左上、右上)

フィリピンのパートナー団体KPACIOを通じてミンダナオ島のバンサモロ・ムスリム・ミンダナオ自治区において、幼児教育に携わる教師や保育者、保護者、社会福祉開発局の職員などを対象としたワークショップや研修を行ないました。

### ケニア キサルニ中等学校にて卒業式が行われました。(写真 左下)

現地パートナー「WE CHARITY FOUNDATION」を通じて、教育支援を行なっているキサルニ中等学校(9学年~12学年)で卒業式が執り行われました。卒業生たちによる感謝の気持ちを込めた歌の披露もあり、賑やかな式となりました。この卒業式で79名の生徒が卒業し、全員が大学への進学が決まっているということです。



#### 卒業生のメッセージ

私たちは、みなさんからの素晴らしいサポートのおかげで喜びで一杯です。私たちの夢を信じ、信頼してくださりありがとうございます。私が8年生を終えたときは、進学できる希望を全く持っていませんでした。しかし感謝の気持ちとともに希望をもち、更なる目標に向かって奮起することができました。

#### 国内子ども支援スタート

2021年から国内の困難な状況にある子どもたちの支援を開始。2023年は入学・進級応援金の提供と、テイク・アクション・キャンプの参加費助成制度(スカラシップ)を実施しました。





**メンバー**  
河合実卯(22)

FTCJは、私に社会に対しての新しい視点や気づきを与えてくれた大切な場所です。今後も多くの子どもや若者に夢と可能性を与える場所でありますように。



**スタッフ**  
原元望

団体に出会ったのは17歳のとき。当時は専従スタッフ不在で、皆がボランティアで団体の理念を広げよう！という一心で仕事と学校の合間に活動していました。そして25年！多くの仲間に恵まれ感謝の思いです。今も昔も変わらない事は「世界をよりよくしたい！」という子どもたちがFTCJには自然と集まってくるという事。これからも、そんな子どもたちをサポートする仕事ができれば嬉しいです！



**キッズパワーサポーター**  
坂下明紀(27)

1番大切な学びは「Kids Can!」です。そして何かにチャレンジするときに、人に言われたことだけじゃなくて、自分で何かアクションを考えてみるのが大切だと感じました。

## チェンジメーカーの仲間たち からのメッセージ

Messages  
from Change Makers



**スタッフ**  
鈴木洋一(38)

「社会は変えられる」そう思える子どもや若者はその社会の希望だとも思います。今後も子どもや若者と共に行動をし続けます。



**FTCJアンバサダー**  
(13期2023年)  
坂口くり果(17)

FTCJで得てきた知識や起こしてきたアクション、出会えた仲間は私にとってかけがえのない宝物です。少しでも社会を変える一歩となれるような、子どもだからこそできるアクションを仲間と起こしていけたらと思っています。  
Together We Can Change the World!



**キッズパワーサポーター**  
松倉愛葵(32)

初めてFTCJに出会った15歳の頃からFTCJを通してたくさんの素敵な出会いに恵まれ、多くの貴重な経験をさせていただき、感謝してもしきれません。世界を変える行動は、「ひとり」が変わること、目の前の「ひとり」を大切にすることから始まると私は信じています。





**キッズパワーサポーター  
福井雄一(32)**

FTCJの活動を通じて1人の力で世界を変えることは難しいかもしれないけど、仲間と協力しながら行動することで、世界を少しでも良い方向に変えることはできると気づきました。



**メンバー  
くみこ(35)**

「こども主体」の考え方は、25年前に既にFTCJが先取りしていたことを考えると、ようやく日本政府もそれに追いついたといえます。実は国内で悩んでいる子ども達も沢山いるので、同年代として更に目を向けてもらえたら嬉しいです。



**スタッフ  
伊藤菜々美(33)**

高校生の時にFTCと教科書で出会い「子どもにも世界を変えるチカラがある」と知り視界が明るくなりました。今はスタッフとして、子どもたちと一緒に活動できて嬉しいです。これからも！！



**メンバー  
出野智基(小学生)**

最初は良く分からず参加していたけれど、フードロスやプロギングのイベントなどに参加してみると、とてもやりがいと達成感が会って、楽しいです。毎回イベントで会う人が違って、色々な人と話ができるのも好きな所です。



**メンバー  
松田和馬(中学生)**

僕はより多くの人々を助けたいと思っています。どんなに小さい行動でも、それが集まれば大きな変化をもたらすことができます。さあ、皆さんも世界に変化をもたらしましょう。



**FTCJ子どもアンバサダー**

**波田野優(中学生)**

小学4年生でFTCJに出会いました。子どもには世界を変えることが難しいと思っている人たちへ、わたしたちにも世界を変える大きな力があるということ伝えていきたいと思います。



**メンバー  
梶原 拓朗(22)**

FTCJは子どもに社会は変えることができる、という理念を学んだ自分の人生にとって、かけがえない大切な場所です。



**FTCJ子どもアンバサダー  
(12期2022年)**

**寺本凜香(中学生)**

世界中の様々な問題を自分事として捉え、行動に移す方を増やすためにアクションを起こし、発信していきます。世界を変えるために、たくさんチャレンジしていきたいです。

～one for all all for one～

※FTCJ子どもアンバサダーとは：国内外の社会問題を「自分ゴト」としてとらえ、一人ひとりがアクションを起こすムーブメントを広める存在。毎年募集しており、2023年は31名が活動中です。



FREE THE  
CHILDREN

日本と世界の子どもたちを  
一緒に支えてください。

## 25周年記念 寄付プロジェクト ご協力をお願い

子どもの力を育てる  
パートナーとして、私たちとともに  
歩んでいただけませんか。

子どもには変化を起こす力がありますが、  
その芽を伸ばせるかどうかは、周りの環境次第。

子どもに寄り添い、子どもの声を聴き、  
子ども自身が主体的に声をあげられるように  
サポートをして25年。

その活動を通じて確信していることがあります。

それは「**子どもは、未来だけではなく、  
今日のリーダーである**」ということです。

子どもは未熟でありあまりできることが少ないと、  
おとなも子ども自身も思いがちですが、  
全くそんなことはありません。

一人ひとりの子どもは、社会の大切な一員で  
あり、変化を起こす力さえも持っています。

国内の、そして世界の子どもをエンパワーし、  
力を育てるために、どうか力を貸してください。

**子どもの力を育てるパートナーとして、  
私たちとともに歩んでいただけませんか。**

みなさまからのご寄付は、最も支援が必要な  
事業を優先し、大切にに使わせていただきます。

みなさまの継続的なご支援により、  
安定して事業を継続することができます。

『キッズパワーサポーター』メンバーならびに  
25周年事業1回寄付へ  
ご協力をお願いいたします。

新規サポーター

100名  
募集!

継続的にフリー・ザ・チルドレン・ジャパンの活動を応援!

## キッズパワーサポーター

毎月または毎年の継続的なご寄付で、海外の貧困地域の子どもたちやその地域の自立を応援する活動、日本の子どもたちの力を伸ばす事業を支援することができます。

月々500円～任意の寄付額を、クレジットカード（毎月/毎年）または自動引き落とし（3カ月毎/毎年）でご寄付いただけます。

お申込み詳細は右記QRコードまたはFTCJで検索の上団体ウェブサイトをご覧ください。



国内の子どもたちの学びを応援!

### 入学・進級支援 5,000円を寄付

国内支援活動として、様々な困難な状況にある子どもたちや親御さんを応援しています。様々な理由で家計が厳しい状況にある世帯のお子さんの新学期の準備の応援金の提供や、イベントの参加費の補助を行います。



より良い暮らしづくりを応援!

### 生活に役立つヤギ2頭 10,000円を寄付

ヤギはとても暮らしに役立つ貴重な動物。労働に使えたり、主な栄養源であるミルクをとることができます。オスとメスのペアで買うことで繁殖を促しさらに収入を支えることができます。  
※ヤギの購入及び収入向上支援事業に用途致します。



### 日本の子どもたちに 世界を知るきっかけに 50,000円を寄付

50,000円で約200人の子どもたちに、世界を知るきっかけを提供することができます。団体設立者であるクレイグ少年の話から始まり、アクションの起こし方など子どもたちが『世界はかえられる』そう思える世界を創る入り口となる授業を行います。



*Together We can change the world*

**25th**  
*anniversary*

**FREE THE  
CHILDREN**

認定NPO法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

〒157-0062東京都世田谷区南烏山6-6-53F

03-6321-8948 [info@ftcj.org](mailto:info@ftcj.org)